

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2018No.111】(HP 収載)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：マーラー

曲名：交響曲第4番

演奏：クラウディオ・アバド指揮ウィーンフィル

発売：Universal Music

No.：UCCG-40082

概要：



発売元サイトの解説と収録曲は次のとおりです。

「シカゴ響、ウィーンフィル、ベルリンフィルを振り分けたアバド最初のマーラー交響曲シリーズからの1977年録音の第4番です。ウィーンフィルのふくよかな音色と緻密な演奏、フォン・シュターデの天上的な歌唱も相俟って独特の魅力を放つ名盤です。8チャンネルのマルチ・テープより2012年に再ミックス&DSD化。

(1977年録音/2012年マスター)

オリジナル・テープから独 Emil Berliner Studios にて2012年に制作したDSDマスターを352.8 kHz/24bitに変換して収録」

交響曲 第4番 ト長調

第1楽章: Bedächtig. Nicht eilen - Recht gemächlich

第2楽章: In gemächlicher Bewegung. Ohne Hast

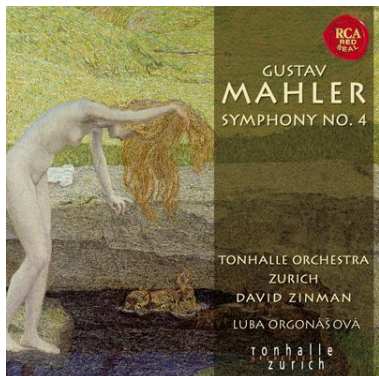
第3楽章: Ruhevoll (Poco adagio)

第4楽章: Sehr behaglich: "Wir genießen die himmlischen Freuden"

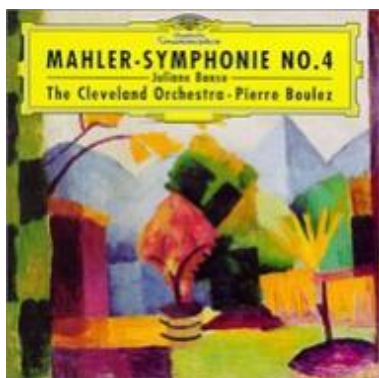
CDドライブからfidata HFAS1-S10に一旦リップングし、WAV音源をHFAS1-S10から読み出して、Brooklyn DAC+のUSB端子にUACU-700経由で入力して聴いてみました。

手元にデヴィッド・ジンマン指揮チューリッヒトーンハレとブーレーズ指揮クリーブランドの CD がありましたので聴き比べてみました。

BMG BVCC 37712 デヴィッド・ジンマン指揮チューリッヒトーンハレ



ドイツグラモフォン 474 991-2 ブーレーズ指揮クリーブランド



また、BPODCH には下記のアーカイブがあります。

2017年2月11日収録 ラトル指揮ベルリンフィル



2014年3月22日収録 セガン指揮ベルリンフィル



2011年2月18日収録 ラトル指揮ベルリンフィル



アバド指揮ウィーンフィルのMQA-CD盤は、ウィーンフィルの木管と弦が美しく流れ、空間表現も見事でMQAのメリットを感じさせてくれます。

ジンマン指揮チャーリットーンハレのCDは、CDドライブから読み出して再生しましたが、録音年代が比較的新しいせいも、音も明晰で、演奏もオーソドックスな印象です。

ブーレーズ指揮クリーブランドのCDは、CDドライブから読み出して再生しましたが、軽快で自由闊達な演奏です。

ラトル指揮ベルリンフィルの2017年収録のBPODCH、セガン指揮ベルリンフィルの2011年収録のBPODCHとラトル指揮ベルリンフィルの2011年収録のBPODCHは、ともに指揮者は変われど、ベルリンフィルのマーラーであり、音質的にも空間表現にすぐれ、特に低弦のクリアーさは、他のメディアにはないものです。BPODCHは、収録年代が下るとともに音質が向上しており、2017年収録のラトル指揮が一番優れています。

以上